

世界史

解答範囲は、解答番号 から までです。

I 次の文(1)~(3)を読み、下の問い(問1~問13)に答えなさい。

(1)

←

【引用部分は削除しています】

(出典：坂井榮八郎『ドイツの歴史百話』。一部改変)

問1 下線部②について。カールの戴冠までのフランク王国に関する記述として誤っているものを、次の中から一つ選びなさい。

解答番号

- ① フランク王クローヴィスはアタナシウス派に改宗した。
- ② 宮宰カール=マルテルはイスラーム軍を撃退した。
- ③ カール=マルテルはメロヴィング朝を廃し王となった。
- ④ ビピン(小ビピン)は奪ったラヴェンナ地方を教皇に寄進した。

問2 下線部⑤について。カールが死んだあと10世紀末までのフランク王国の諸地域に関する記述として誤っているものを、次の中から一つ選びなさい。

解答番号

- ① ヴェルダン条約とメルセン条約により帝国は東西へ二分された。
- ② 東フランクでは諸侯の選挙により王が選ばれるようになった。
- ③ 西フランクではバリ伯ユーグ=カペーがカペー朝を開いた。
- ④ カロリング家の血筋(王統)はいずれの地域でも断絶した。

問3 空欄 に入れるのに適当なものを、次の中から一つ選びなさい。

解答番号

- ① フリードリヒ2世 ② アルフレッド大王 ③ ロタール1世
- ④ ルートヴィヒ2世 ⑤ オットー1世

問4 空欄 に入れるのに適当なものを、次の中から一つ選びなさい。

解答番号

- ① ゴート ② ヴァンダル ③ マジャール
- ④ ケルト ⑤ ブルガール

問5 下線部③について。名実ともに滅ぶまでの神聖ローマ帝国に関する次の出来事の順番として正しいものを、下の①から⑥の中から一つ選びなさい。

解答番号

- A. ベーメン(ボヘミア)王国が神聖ローマ帝国に編入された。
- B. 西南ドイツ諸邦がライン同盟を結成した。
- C. 『金印勅書』により皇帝選出権が七選帝侯に認められた。
- D. 皇帝不在の「大空位時代」が続いた。

- ① A→B→D→C ② A→D→C→B ③ B→D→A→C
- ④ D→A→C→B ⑤ C→D→B→A ⑥ D→B→C→A

問6 下線部④について。中世のフランスに関する記述として誤っているものを、次の中から二つ選び、解答番号6の欄を使用して二つの番号をマークしなさい。

解答番号

- ① 世界最古のバリ大学が創立され、法学で有名であった。
- ② 母がカペー家出身であるエドワード3世が王位継承権を主張した。
- ③ 国王フィリップ4世が教皇を捕縛する事件が起こった。
- ④ 約70年間、教皇庁は南フランスのアヴィニョンに移されていた。
- ⑤ クレシーの戦いでジャンヌ=ダルクがフランス軍を勝利に導いた。

問7 下線部⑥について。中世のイギリス(イングランド)に関する記述として正しいものを、次の中から一つ選びなさい。

解答番号

- ① バラ戦争の後、ヨーク派のヘンリ7世がテューダー朝を開いた。
- ② 大憲章(マグナ=カルタ)によって封建制の基礎ができた。
- ③ 「征服王」と呼ばれたウィリアム1世は教皇に破門された。
- ④ アングロ=サクソン王国はデン人(カヌート)に征服された。

問8 下線部⑦について。ローマ教皇とローマ教会(ローマ=カトリック教会)に関する記述として誤っているものを、次の中から一つ選びなさい。

解答番号

- ① ローマ教皇は使徒ペテロの後継者を自任したローマ司教に由来する。
- ② ローマ=カトリック教会は教皇を頂点とする階層制組織である。
- ③ セルビア人はフランク王国の影響でローマ=カトリックを受け入れた。
- ④ 西欧封建社会において教会は農民から「十分の一税」を取り立てた。

←

【引用部分は削除しています】

(出典：坂井榮八郎『ドイツの歴史百話』。一部改変)

英語

日本史

世界史

政治・経済

数学(文系型)

数学(理系型)

物理

化学

生物

正解・正解例
講評

国語

問9 空欄 に入れるのに適当なものを、次の中から一つ選びなさい。
解答番号

① ウルバヌス2世 ② ボニファティウス8世
③ インノケンティウス3世 ④ グレゴリウス7世
⑤ レオ3世

問10 空欄 に入れるのに適当なものを、次の中から一つ選びなさい。
解答番号

① エフェソス公会議 ② アナーニ事件
③ 教会大分裂(大シスマ) ④ カノッサの屈辱
⑤ バビロン捕囚

問11 空欄 に入れるのに適当なものを、次の中から一つ選びなさい。
解答番号

① カルマル ② コンスタンツ
③ ラテラノ(ラテラン) ④ ハンザ
⑤ ヴォルムス

(3) 神聖ローマ帝国では、1138年からシュタウフェン朝の時代を迎える。この時期、皇帝はドイツ、ブルグンド、イタリア北部、そしてシチリアをも支配下におくが、「全キリスト教世界を包括する」という神聖ローマ帝国の理念実現は容易ではなかった。1152年にドイツ王、2年後に神聖ローマ皇帝となったフリードリヒ1世、通称「赤ひげ」は、ブルグンド王女との結婚によってブルグンドを支配下に入れたあと、6度の遠征を行なってイタリアの武力制圧を試みた。教皇や諸都市との長い抗争のちイタリア支配を安定させると、彼はフランス王・イングランド王とともに自ら十字軍(第3回)を率いて遠征に出た。

問12 下線部③について。中世のイタリアに関する記述として誤っているものを、次の中から一つ選びなさい。
解答番号

① 北イタリアの多くの都市が共通の利害のためにロンバルディア同盟を作った。
② フィレンツェのメディチ家が一族から教皇を出したことがある。
③ 諸都市内部では皇帝党(ギベリン)と教皇党(ゲルフ)が争った。
④ アルクインら学者が招かれラテン語による文芸復興が起こった。

問13 下線部⑤について。十字軍に関する記述として誤っているものを、次の中から二つ選び、解答番号13の欄を使用して二つの番号をマークしなさい。
解答番号

① ビザンツ皇帝による救援要請がきっかけとなり始まった。
② 教皇はクレルモン宗教会議で聖地回復の聖戦を提唱した。
③ 第1回十字軍はエルサレムにラテン帝国を建てた。
④ 第4回十字軍はコンスタンティノープルを占領した。
⑤ 聖地への巡礼保護を目的とした宗教騎士団が活躍した。
⑥ 十字軍の失敗で教皇の権威やイタリア諸都市の力は弱まった。

II 次の文(1)~(4)を読み、下の問い(問1~問13)に答えなさい。

(1) 三国の呉を滅ぼして中国を統一した晋(西晋)も、まもなく一族が帝位を争う内乱が起こり、やがて滅亡した。華北にいた遊牧民の自立や、非漢族集団の流動もあり、胡漢の諸勢力が各地に次々と王朝をおこした。かつて北アジアの草原で活躍した匈奴の流れを汲む勢力が一時は華北で覇権を握った。しかし次々に、より強者があらわれて、諸政権が興亡を繰り返す。氏族の政権が華北統一を目前にひとたび敗れ、威勢を失墜させると、ただちに各地で諸勢力が独立したのは、その典型である。やがて華北は鮮卑族の北魏により統一され、南北の分裂が決定的な時代となった。

問1 下線部③について。晋(西晋)に関する記述として正しいものを、次の中から一つ選びなさい。
解答番号

① 蜀を滅ぼした。
② 占田・課田法を実施した。
③ 成都を都とした。
④ 九品中正法を創始した。

問2 下線部⑤について。それらの政権名とその根拠地の組み合わせとして誤っているものを、次の中から一つ選びなさい。
解答番号

① 漢(前趙) — 建康 ② 西涼 — 敦煌
③ 前秦 — 長安 ④ 北凉 — 張掖
⑤ 成 — 成都

問3 下線部④について。北魏時代の文化・宗教に関する記述として誤っているものを、次の中から一つ選びなさい。
解答番号

① 雲崗石窟には、ガンダーラ様式・グプタ様式の影響が残っている。
② 洛陽郊外に龍門(竜門)石窟が造営された。
③ 道教は北魏の太武帝に信奉された。
④ 寇謙之が太平道をはじめた。

(2) 滅びた晋(西晋)の一族が南方へ逃れ、長江中下流域をおさえて政権をたてる。東晋である。とはいえ貴族間の権力闘争と武人勢力の台頭もあり、政権は不安定であった。やがて東晋が滅びると、武力を握った強者が次々にあらわれ、新たな政権をたて、王朝交替をくりかえした。南方政権(南朝)には、戦乱を逃れて漢人貴族や豪族、農民たちが移ったため、農業開発も進み、長安や洛陽の文化が長江中下流域の諸都市にもたらされた。しかし、戦乱と饑饉があいつぎ、農民たちは流浪した。そうした流浪民や不在耕地を手に入れた豪族は大土地経営を進展させた。やがて豪族は門閥貴族となっていった。

問4 下線部④について。東晋を滅ぼした王朝名として正しいものを、次の中から一つ選びなさい。
解答番号

① 楚 ② 陳 ③ 宋 ④ 梁 ⑤ 齊

一般選抜入試(中期日程) 世界史(2月14日)

英語

日本史

世界史

政治・経済

数(文系型)
学

数(理系型)
学

物理

化学

生物

正解・正解例
講評

国語

問5 下線部㉔について。三国の呉から南朝をふくむ南方の諸政権を六朝とよびます。六朝時代の文化に関する記述として誤っているものを、次の中から一つ選びなさい。

解答番号

- ① 梁の昭明太子が『文選』を編集した。
- ② 「四六駢儷体」という華麗な文章が好まれた。
- ③ 「竹林の七賢」の一人に王羲之がいる。
- ④ 『女史箴図』は顧愷之の作とされている。

問6 下線部㉕について。東晋以前にもすでに存在が認められる門閥貴族に関する記述として誤っているものを、次の中から一つ選びなさい。

解答番号

- ① 主に冊封体制を利用して官位や爵号を得た。
- ② 有力な家柄が政府の要職を独占した。
- ③ 貴族の間では、道徳や規範にしばられない趣味の世界が好まれた。
- ④ 清談がもてはやされた。

(3) 中国の分裂を統合したのが隋王朝であった。古都長安に新たな都市を建設し、諸制度を整備した。南方の海路への出入口となる杭州から、北方は現在の北京をむすぶ大運河を整備した。また大運河は東西の交通運輸の大動脈である黄河から淮河そして長江へと接続する役割もあった。長く分断されていた中国南北の統一を進めることになる。また国際的には、ユーラシア北方において中国から西方へつづく「草原の道」・「絹の道」と、東南アジアを中継地とする「海の道」を中国で接続させることになり、結果として商業の発達する次の時代への原動力を生み出すことになる。

問7 下線部㉖について。隋に関する記述として誤っているものを、次の中から一つ選びなさい。

解答番号

- ① 律令を制定した。
- ② 煬帝が建国した。
- ③ 科挙を実施した。
- ④ 大興城を建設した。

問8 下線部㉗について。黄河と淮河を連絡する運河として正しいものを、次の中から一つ選びなさい。

解答番号

- ① 広通渠
- ② 通済渠
- ③ 山陽瀆
- ④ 永済渠
- ⑤ 江南河

問9 下線部㉘について。隋代の東南アジアに関する記述として正しいものを、次の中から一つ選びなさい。

解答番号

- ① 隋は現在のベトナム北部を支配した。
- ② 隋はスマトラ島の三仏斎を滅ぼした。
- ③ インドを訪れた義浄は東南アジアを経由して中国に帰国した。
- ④ エーヤワディー(イラワディ)川下流域にバガン朝がおこった。

(4) 隋末の混乱から王朝を開いたのは唐である。かつて華北を統合した鮮卑の流れをくむ諸制度を継承し、アジアの諸地域の人材を用いて、中央ユーラシアへと勢力を伸ばす国家を建設した。その首都が長安である。大運河、そして黄河、長江とが相互に連絡したことにより国内の交通運輸が活発化し、さらに広くユーラシア東西を結ぶ国際交通路に接続する交差点の一つとなって、長安は繁栄した。アジア各地の諸民族系の人々が往来、移住し、長安には各地から使者が訪れた。

問10 下線部㉙について。唐の制度に関する記述として誤っているものを、次の中から一つ選びなさい。

解答番号

- ① 国境には備兵を用いる府兵制を実施した。
- ② 夏秋に徴税する兩税法を実施した。
- ③ 隋から均田制を継承し、実施した。
- ④ 三省、六部を中央政府に設けた。

問11 下線部㉚について。唐代の長安に関する記述として誤っているものを、次の中から一つ選びなさい。

解答番号

- ① 広開土王碑が建立された。
- ② 大秦景教流行中国碑が建立された。
- ③ ソロアスター教寺院が設けられた。
- ④ 大雁塔が建設された。

問12 下線部㉛について。唐代の国際交通路に関する記述として誤っているものを、次の中から一つ選びなさい。

解答番号

- ① 唐は、西域の辺境地域の要所に都護府をおいて間接統治した。
- ② アラビアやペルシアからもムスリム商人が広州に来港した。
- ③ 玄奘は仏典を求めて、長安からインドまで陸路で往復した。
- ④ エフタルは、東西交易をおさえ、中央アジアの大勢力となった。

問13 下線部㉜について。アジア各地の諸民族と唐に関する記述として誤っているものを、次の中から一つ選びなさい。

解答番号

- ① ソグド人の血を引く安祿山が反乱を起こした。
- ② チベット=ビルマ系の南詔が唐の冊封をうけた。
- ③ クラス河畔でイラン系の柔然が唐と戦った。
- ④ トルコ系のウイグルは絹馬貿易を唐と行なった。

一般選抜入試(中期日程) 世界史(2月14日)

英語

日本史

世界史

政治・経済

数学(文系型)

数学(理系型)

物理

化学

生物

正解・正解例
講評

国語

Ⅲ 次の文(1)~(3)を読み、下の問い(問1~問14)に答えなさい。

(1) 1492年、スペインの女王イサベルの援助を受け、航海者コロンブス(コロン)は、アメリカ大陸に到達した。アメリカ大陸は、ヨーロッパ人にとって「新大陸」とみなされ、これ以降多数のヨーロッパ人が植民地化を目的として「新大陸」に渡った。1494年には、スペインとポルトガルの間で「ア」条約が締結され、「新大陸」は分割された。一方でアメリカ大陸の植民地化には、キリスト教の海外布教という重要な目的もあった。

1521年、スペイン王室から派遣されたコルテスはアステカ王国を打倒し、1533年にはピサロがインカ帝国を破った。このような植民地化の中で、ラテンアメリカの先住民は労働力として扱われ、酷使された。また、1545年には現在のボリビア南部でポトシ銀山が発見され、ラテンアメリカからヨーロッパに大量の銀が流入するきっかけとなった。こうしてもたらされた銀はヨーロッパの経済に大きな影響を与えた。

問1 下線部③について、イサベルに関する記述として誤っているものを、次の中から一つ選びなさい。

解答番号

- ① カスティリヤ王国の王女であった。
- ② コルドバを攻略してレコンキスタ(国土回復運動)を完成させた。
- ③ アラゴン王子フェルナンドと結婚した。
- ④ 夫とともに「カトリック両王」の称号を得た。

問2 空欄「ア」に入れるのに適当なものを、次の中から一つ選びなさい。

解答番号

- ① トルデシリヤス
- ② バリ
- ③ テイルジット
- ④ ユトレヒト
- ⑤ ローマ

(2) 植民地化後にスペインの支配下にあったカリブ海のイスパニョーラ島は、17世紀末、その西部がフランス領となった。18世紀にはプランテーションが盛んになり、黒人奴隷の数が増加した。この地では18世紀末、フランス革命の影響を受け、「イ」の指導下、奴隷解放運動が始まった。結果として1804年には史上初めての黒人共和国、ハイチが誕生した。ハイチでは、黒人奴隷制も同時に廃止され、その影響は諸外国に及んだ。1807年に「ウ」では奴隷貿易が、1833年には「ウ」領植民地での奴隷制が撤廃された。

さらに、ラテンアメリカでは19世紀の最初の30年間で多くの植民地が独立を達成した。南米における独立運動は、主として北部では「エ」、南部では「オ」によって指導された。加えて、独立を目指す一連の運動は、植民地生まれの白人である「カ」の大地主層が牽引した。

問6 下線部④について、18世紀のイスパニョーラ島西部において、プランテーションにより世界最大の生産量を誇った作物として正しいものを、次の中から一つ選びなさい。

解答番号

- ① ジャガイモ
- ② サトウキビ
- ③ サツマイモ
- ④ トウガラシ
- ⑤ トマト

問3 下線部⑤について、16世紀のキリスト教に関する記述として誤っているものを、次の中から一つ選びなさい。

解答番号

- ① トリエント公会議でカトリック教会の改革が図られた。
- ② ヨーロッパでは「魔女狩り」が行なわれた。
- ③ イグナティウス=ロヨラなどがイエズス会(ジェズイット教団)を結成した。
- ④ ラス=カサスがアシエンダ制を批判した。

問4 下線部⑥について、アステカ王国に関する記述として誤っているものを、次の中から一つ選びなさい。

解答番号

- ① テノチティトランを都とした。
- ② ピラミッド状神殿をつくった。
- ③ 絵文字を使った。
- ④ 駅伝制が整備された。

問5 下線部④について、ラテンアメリカの先住民に関する記述として誤っているものを、次の中から一つ選びなさい。

解答番号

- ① 水期にアジアから移住した人々である。
- ② トウモロコシを栽培した。
- ③ 鉄器を使用した。
- ④ 天然痘などの疫病によって人口が激減した。

問7 空欄「イ」・「エ」・「オ」に入れるのに適当な組み合わせを、次の中から一つ選びなさい。

解答番号

	空欄「イ」	空欄「エ」	空欄「オ」
①	トゥサン=ルヴェルチュール	サン=マルティン	シモン=ボリバル
②	トゥサン=ルヴェルチュール	シモン=ボリバル	サン=マルティン
③	シモン=ボリバル	トゥサン=ルヴェルチュール	サン=マルティン
④	シモン=ボリバル	サン=マルティン	トゥサン=ルヴェルチュール
⑤	サン=マルティン	トゥサン=ルヴェルチュール	シモン=ボリバル
⑥	サン=マルティン	シモン=ボリバル	トゥサン=ルヴェルチュール

問8 空欄「ウ」に入れるのに適当なものを、次の中から一つ選びなさい。

解答番号

- ① オランダ
- ② ポルトガル
- ③ イギリス
- ④ アメリカ合衆国
- ⑤ スペイン

問9 下線部④について、この時期に独立した植民地として誤っているものを、次の中から二つ選び、解答番号35の欄を使用して二つの番号をマークしなさい。

解答番号

- ① メキシコ
- ② アルゼンチン
- ③ キューバ
- ④ ベルー
- ⑤ プエルトリコ
- ⑥ ブラジル

問10 空欄「カ」に入れるのに適当なものを、次の中から一つ選びなさい。

解答番号

- ① クリオーリョ
- ② メスティーソ
- ③ ムラート
- ④ ペニンスラール
- ⑤ インディオ

一般選抜入試(中期日程) 世界史(2月14日)

英語

日本史

世界史

政治・経済

数(文系型)学

数(理系型)学

物理

化学

生物

正解・正解例
講評

国語

(3) 19世紀後半のラテンアメリカでは、少数の大地主や大商人の支配に不満を募らせた農民や労働者の抵抗活動が顕著となった。その結果、帝政下のブラジルでは、1888年に奴隷制の廃止が決定され、翌年には帝政から共和政に移行した。19世紀末になると、ラテンアメリカへの欧米諸国の投資が活発化し、ラテンアメリカ経済は著しい変化を遂げた。

メキシコでは、19世紀後半、フランスのナポレオン3世が内政に干渉した。この干渉は、アメリカ合衆国の強い反発もあって失敗に終わった。その後、が1876年のクーデタ後に大統領となると、独裁体制がしかれた。1910年、自由主義者のが呼びかけてメキシコ革命を開始すると、農民運動指導者も参加し、最終的にを追放した。1917年には民主的な憲法が制定され、革命は終結した。

問11 下線部⑥について。19世紀末のラテンアメリカ経済に関する記述として誤っているものを、次の中から一つ選びなさい。

解答番号

- ① 欧米諸国の重工業化の進展に伴い、原料需要が高まった。
- ② 鉄道や汽船が普及した。
- ③ ブラジルではコーヒーの対欧米輸出が増加した。
- ④ 中米ではアメリカ合衆国への経済的従属が弱まった。

問12 下線部⑤について。ナポレオン3世に関する記述として誤っているものを、次の中から一つ選びなさい。

解答番号

- ① 密約を結んでイタリア統一戦争に介入した。
- ② ベトナムの宗主権をめぐって清仏戦争が起こった。
- ③ プロイセンとの戦争で捕虜となった。
- ④ オーストリア皇帝の弟マクシミリアンをメキシコ皇帝に即位させた。

問13 空欄・・に入れるのに適当な組み合わせを、次の中から一つ選びなさい。

解答番号

	空欄 <input type="text" value="キ"/>	空欄 <input type="text" value="ク"/>	空欄 <input type="text" value="ケ"/>
①	マデロ	サバタ	ディアス
②	マデロ	ディアス	サバタ
③	サバタ	マデロ	ディアス
④	サバタ	ディアス	マデロ
⑤	ディアス	マデロ	サバタ
⑥	ディアス	サバタ	マデロ

問14 下線部①について。メキシコの1917年憲法に関する記述として誤っているものを、次の中から一つ選びなさい。

解答番号

- ① 外国資本の国有化が目指された。
- ② 大土地所有制の解体が謳われた。
- ③ 大統領の権限が縮小された。
- ④ 反教会主義が掲げられた。